

令和6年度 豊中市総合計画審議会 第1回会議 議事要旨

【日 時】令和6年(2024年)10月1日(火)18時30分~20時30分

【場 所】第二庁舎3階大会議室、ZoomによるWEB会議

【出席者】石川委員、大野委員(オンライン)、川久保委員、岸本委員、佐藤委員(オンライン)、高橋委員、田中委員、野崎委員(オンライン)、久委員、吉村委員、坂東委員、元木委員

【欠席者】なし

【事務局】藪床都市経営部長

都市経営部経営戦略課：森田、田中、高橋、山田、富永、松田、大重

【傍 聴】なし

【案 件】1. 会長の選出について

2. 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果の諮問について

3. 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果について

4. その他

【資 料】資料1 豊中市総合計画審議会に係る規則等について

資料2 豊中市総合計画審議会 委員名簿

資料3 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果(全体版)

資料4 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果(概要版)

資料5 政策評価のチェックポイント

参考1 第4次豊中市総合計画後期基本計画

参考2 第4次豊中市総合計画後期基本計画 行政評価指針

参考3 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果 用語集

参考4 政策評価シート記入マニュアル

参考5 2024 経営政略方針

参考6 2025 経営戦略方針

参考7 子育てしやすさN01(広報とよなか12月号)

参考8 総合計画・基本政策・経営戦略方針の関係図【会議録】下記のとおり

■開会

■都市経営部長挨拶

■資料の確認

■委員会について説明、成立要件の確認、会議の公開について確認

事務局

(資料1に基づき説明)

会議の成立要件は、審議会規則第7条第2項のとおり、委員の過半数の出席が必要であります。本日は委員総数12名の出席がありますので、成立要件を満たしております。また本日、傍聴者はいません。

■ 委員紹介、事務局紹介

事務局

(資料2「豊中市総合計画審議会 委員名簿」に基づき委員紹介、事務局紹介)

■ 「1. 会長の選出について」

(豊中市総合計画審議会規則第6条第2項の規定により、会長を委員の互選により決定)

会長・・・久委員

(豊中市総合計画審議会規則第6条第4項の規定により、会長職務代理者を会長の指名により決定)

会長職務代理・・・高橋委員

■ 2. 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果の諮問について

(事務局から諮問書の内容を確認)

会長

確かにお受けいたしました。

■ 3. 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果について

会長

続けて、案件3. 2024年度(2023年度実施分)政策評価結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(【資料3】2024年度(2023年度実施分)政策評価結果(全体版)について説明)

会長

ただいま、2024年度(2023年度実施分)政策評価結果についてのご説明をいただきました。

総合計画の施策の一つ下の単位に事務事業があります。事務事業は、何百という数の事業がありますが、本審議会では、各事務事業がパッケージになった施策を確認します。施策のパッケージとしてうまく動いているかどうかなど、少し上のレベルの観点で確認することが、この総合計画審議会のポイントであると思います。

また、分野別に審議会では、それぞれのマスタープランの評価を行っているため、本審議会では同じことをするのではなく、分野を区切ってしまうと縦割りになっている部分に横串をさせているかどうかという観点が、本審議会でのもう一つの大きな柱であると考えます。

評価シートを確認するうえでは、個別具体的な内容というよりも、PDCAが回っているかどうかの観点で、プランのチェックがしっかりできているか、チェックで明らかになった課題が、アクション

で改善策として記載されているか、という観点で見ていただくと効果的にチェックできると思います。

それでは、順に見ていきたいと思います。1-1.「妊娠・出産・子育て支援の充実」のシートについてご意見はございませんか。

委員

令和9年度末実現したい状態で「妊娠、出産および子育てに関する個別の状況に応じた情報が提供され」とありますが、情報提供についてはあまり記載がされておらず、支援内容が主な内容になっています。情報提供におけるアウトリーチは大きな課題となっているため、情報提供についても追記されるといいのではないのでしょうか。例えば、KGIに掲げられている健康診査受診率は97.2%と高い数値になっていますが、これも適切な情報提供により実現したといえるのではないのでしょうか。

委員

相談体制としてアウトリーチをしていくことはとても重要だと思います。また、今回、市の方向性として「子育てしやすさ NO.1」を掲げられています。子育てしやすさ NO.1 は子育てに関する様々な問題が解決されることで NO.1 になるかと思いますが、施策シート 1-1 で設定している KGI から読み取れるのか疑問に思いました。

事務局

ここで設定している KGI は、令和4年度に第4次総合計画後期基本計画を策定した当時に設定をしたものになっております。「子育てしやすさ NO.1」は、昨年度表明をしましたので、時系列的に指標を設定した時点と「子育てしやすさ NO.1」を宣言した時点にずれがありますことから、完全にフィットするものになっていない側面がございます。KGI を今から変えるというのは難しいですので、成果の分析の中で、定量的な評価をする等、そこに資するものを追記するような形で補足していくことと考えております。

委員

かしこまりました。子育てしやすさは何をもって NO.1 とするかは、抽象的であるため、ブレイクダウンして市民の方に分かりやすく伝えることが必要だと思います。

委員

子育てしやすさ NO.1 宣言によって、シビックプライドを醸成したいのか、転入者を呼び込みたいのかのねらいがわかりづらいです。また、KGI は政策評価の中でも市民に最もみられる部分だと思います。KGI の実績値を市としてどのように評価し、捉えているかについての説明が必要だと思います。

事務局

何をもって、子育てしやすさ NO.1 とするかについて、補足をしますと、各種の調査の結果等もありますが、まず一番に大事にしたいのは市民の皆さんが本当に豊中で子育てをしてよかったと認めていただくことです。子育てをするなら豊中が一番いいと認めていただけるといところが積み重なっていけば、ご指摘があったようなシビックプライドの醸成に繋がっていきますし、シビックプライドの醸成が広がっていけば、豊中への転入を検討される方にも広がっていき、結果的に、市外からの子育て世代の流入につながると考えております。当然、主観的な評価にあわせて、各種の調査で本当に子育てしやすいまちだと思っただけなのか客観的かつ定量的な数字というものも、併せて追い求めていきたいと思っております。

委員

保育教育に対するニーズが多様化している中で、ニーズをどのように把握されているのでしょうか。

事務局

ニーズ把握のために、定期的な調査を行っております。今までは5年に1回程度の実施だったものも、より短いスパンでニーズを捉えられるようにしたり、気軽にお答えいただけるような簡易的な調査を用いながらニーズ把握を行う予定です。また、行政だけではなく、民間の方や地域の方の力を借りながら多様なニーズに対応していく方向で、提供サービスを考えています。

委員

豊中市が実施している朝7時の校門開門の実施は共働き世帯が主なターゲットになっていると思います。子育てしやすいまちづくりは他市町村もアピールしているなかで、ターゲットをより明確にすると市民の人にもわかりやすいのではないのでしょうか。

委員

豊中市は、多様な働き方を推進されており、女性就労やフリーランス支援を積極的に行っていることは、他市にはない大きな魅力だと思います。子育てをする上で、働きながら子育てができる環境は豊中市の魅力であり、重要なポイントであると思いますが、施策シートの3-5.「産業振興の実現」にはその記述は見られません。横串をさして、子育てと産業の両方の観点から、共働きで子育てしながら働けるような環境整備に力を入れて取り組んでいることが分かるよう書いていただくといいのではないのでしょうか。

委員

子育て支援の施策を行う部局と産業の部局が連携して評価していただければと思います。

委員

「子育てしやすさ NO.1」は抽象的であり、他市でも言っている内容なため、豊中市らしい発信の仕方が必要ではないでしょうか。例えば、出産や子育てに関する不安や不自由を解消するという意味合いで「不の解消を行っていく」等、別の切り口の工夫があればいいと思います。加えて、市民の方に対して、どの程度、出産や子育てに関する不安が減ったかを調査するなどして積み重ねていくことで、実績としても数字で見えて、職員のモチベーション向上にもつながるのではないのでしょうか。

委員

豊中市は、こども家庭センターの設置に伴い、こども家庭ソーシャルワーカーの現任者研修等の専門職の配置についても、補助金をつけて養成しているのではないのでしょうか。であれば、(5)の今後の取組みに記載のある、はぐくみセンターの取組みについて、「サービスの質・量を充実させていく」と記載されていますが、このことに加え、「専門性の向上のために専門職の配置を検討している」等、より具体的な内容が記載されるとより伝わりやすくなるのではないのでしょうか。

委員

KGIは、究極の到達地点になりますが、第4次総合計画後期基本計画で設定されているKGIの考え方について教えてください。

事務局

まず、前提として、第4次総合計画前期基本計画では、政策評価の中でのみ指標を掲載しており、計画ではKGIは設定していませんでした。しかし、計画の進捗管理をする上でKGIは必要であるという考えのもの、第4次総合計画後期基本計画より掲載しています。本来、最終的なゴールの達成状況を測る指標がKGIです。しかしながら、後期基本計画においては、施策の幅が広いことや、市単位で計測可能な指標が限られていることから、参考1の第4次豊中市総合計画後期基本計画P32「施策の見方」に記載させていただいておりますとおり、アウトカム・アウトプットの両方の視点から総合的に実現したい状態を測る主な指標として設定しています。

委員

分かりました。子育てしやすさ NO.1をどういうインジケーターで補足していくかは次期総合計画のKGIを見据えて検討する必要があると思います。

委員

様々なKGIが設定されている中でも、全体のどの部分に力を入れることで最終的な目標となる数値が大きくなるのかを明確にすることで、横串をさした時の全体の成果が分かりやすくなるのではないのでしょうか。

会長

例えば、他市の場合、毎年市の通信簿を出し、市全体の評価をしています。横串をさすという観点では、施策シート以外のところで、全体的にどのように評価できるかを、一つ別で作る必要があるのかもしれない。

委員

子育てしやすさ NO.1 は、どのような数値が達成したら NO.1 を実現できたといえるのでしょうか。

事務局

子育てしやすさ NO.1 は、ここに示す KGI をもって測るというよりは、市民の方お1人お1人が、子育てしやすいと感じられる状態を大切にしたいと考えています。

委員

数値としては、他市と大差はなくとも、今年度の重要視しているポイントが他市と比較してどうなのかの視点は必要であり、市民は知りたいポイントなのではないかと思いますので、評価の時にはその視点を意識していただきたいです。

会長

メリハリをつけた書き方をするために、アピールできるポイントに絞って記載することで、分かりやすくなると思います。

委員

市の取組みによってコントロールが一定可能な指標と、出生数等のコントロールが難しい指標が混同していることには違和感がありますので、整理が必要ではないでしょうか。

会長

(4) 課題(チェック)と(5)今後の方向性(アクション)につながりがない部分があります。例えば、(4) 課題の○二つ目に「体系化が必要」とありますが、(5) 今後の方向性には記載がありません。また、(4) 課題の○三つ目に「公民の役割の整理が必要」があげられていますが、(5) 今後の方向性には、「第2次公立こども園整備計画を策定」と記載されています。しかしながら、第2次公立こども園の計画は、公立こども園の計画であり、私立やNPO等に対してどうするについては示されておらず、本計画を策定することが、役割の整理につながるのでしょうか。

委員

各施策の方向性に対応する取組みや課題・今後の方向性がどこに記載があるのかがわかりにくいいため、説明があるとわかりやすくなるのではないのでしょうか。

会長

続きまして、1-2.「教育環境の充実」の施策シートについて、ご意見ございませんでしょうか。

委員

不登校の話は学校教育に留まる話ではないため、総合的に支援していることが読み取れるよう、『1-3.「子ども・若者への総合的な支援の充実」』にも記述されるといいと思います。

委員

1-2の施策シートは、定量的かつ詳細に書かれていますが、網羅的になっており市民にとっては、読みづらいのではないのでしょうか。本当に強調したいところだけに絞り、シンプルにした方が市民にとってわかりやすい内容になるのではないのでしょうか。

会長

AI ドリルの導入や修学旅行費等の保護者負担費の無償化等、個別具体的な取組み内容が多いため、もう少し大きなくくりで記載することで、インパクトのある見せ方になると思います。

委員

例えば、「DXの推進のために民間事業者と連携している」等、大きなくくりで記載いただいた方が、市民にも分かりやすく、シビックプライドの醸成にもつながると思います。

委員

本施策シートを作成する目的は、説明責任の確保なのではないのでしょうか。あるいは、重要な取組み等をエグゼクティブサマリーのように抜き出し、市民に分かりやすく伝えることが目的なのではないのでしょうか。

事務局

行政評価は、行政の取組みが、PDCAサイクルに基づき評価を行った上で進めている、ということの説明する責任を果たす目的で行っています。責任を果たすといっても、市民の方に理解していただければいけませんので、市が実施していること、今後進めようとしていることを分かっていたくためにどうすべきかについて、ご意見をいただくために審議会の場を設けさせていただいています。

委員

一番の目的は、PDCAサイクルに基づく評価、いわゆるモニタリングで、それを市民の皆さんへアカウンタビリティとして説明していくということですね。例えば、本評価を通じた課題を市の事業者やステークホルダーに向けて提示し、一緒に進めてきたいという発信ができれば、官民連携の観点でも、有意義な評価になるのではないのでしょうか。

会長

事務事業評価の中でもどれだけ進んでいるのか、課題は何があるのかの評価はしているため、事務事業評価との役割整理が必要です。1-2の施策シートでいうと、令和9年度末実現したい状態に確かな学力を身につける側面と、将来の目標に向かって自ら課題を見つけること、いわゆる生きる力を育む側面の2つの柱が掲げられています。この実現に向けての評価が必要であるのに対して個別具体的な内容になりすぎているため、メリハリがありません。また、エビデンスについてもアウトカムになっていません。

委員

(3)の成果について、サポートプランを作成したこと等は成果ではないので、作成したことによる成果がわかるよう、記述されたいです。

委員

第1章全体で、子育てしやすさNO.1をアピールする必要がある一方で、施策シート1-1~1-3はぶつ切りのように思います。ストーリーのある、つながりがわかるような評価するといいいのではないのでしょうか。

委員

「令和9年度末(2027年度末)に実現したい状態」に掲げる「主体的な学び」について、主体的な学びは、例えば、児童生徒がまちづくり協議会との連携することによる地域への愛着をもった人材育成や、防災学習による主体的な学びを進める等、分野をまたいで橋渡しできる内容であるため、豊中市として「主体的な学び」はどのような状態を指すのか明らかにしておく必要があるのではないのでしょうか。

委員

担当課が実施した取組みがどのように働いて、最終的に市としてめざすところに結びついているのでしょうか。企画調整していくにあたって、どこを重点化することで成果を生み出せるのかや、横串をさして施策を進めるにあたっての施策間の関連性は、文章だけではなく、図で体系的に示すことで、市民に対してわかりやすくなるのではないのでしょうか。

委員

今後の計画策定や評価に向けて、市民に向けては絵や図でわかりやすく示し、行政内部では文章にする等、使い分けて変えていく必要はあるのではないのでしょうか。

会長

例えば、他市の場合、それぞれの施策ごとに濃淡をつけ、こういう人に対しては、こういうことをやっていく、ということが施策ごとに記載されている例があります。その他、絵本や動画にして、ビジュアルで示していく例もあります。そのような形で、文章を図示し具体化していくことが必要だと思えます。一方で、行政は、何かに特化すると、特化されなかった方からクレームが発生するケースがあります。ただ、先ほどの委員の皆様のご議論からいくと、行政評価は、総花的に示すのではなく、重要なポイントに絞ったり、施策に濃淡をつけ市の方向性が分かるように示した方がいいのではないのでしょうかということです。

委員

子育てについても、日本語を母国語としない方がたくさんおられる中で、日本語を母語とする人以外にも伝わる内容になるよう、やさしい日本語で作ることで、結果的に子どもや高齢者の方にも伝わりやすくなるため、意識していただきたいです。

委員

外国籍の方に対する内容は4-1.「共に生きる平和なまちづくり」の施策シートに記載されていますが、今後も外国籍の方は増えていくことが想定される中で、外国籍の方を含む様々な市民の方にとってわかりやすい記述になっているかの視点は必要ではないのでしょうか。

会長

続きまして、施策シート2-1.「住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進」について、ご意見ございませんでしょうか。

地域福祉の分野で言いますと、豊中市は全国に先駆けて様々なことをやっていると思えます。社会福祉協議会の取組みでも、市の取組みと関連性があるものについては、実績として記載されるといいと思えます。

委員

KGIの用語は、機関や施設の名称等、専門的なものが多くわかりにくいので、文章の中でも説明を加え、相関で分かってよいのではないのでしょうか。

委員

指標は、順調なものだけではなく、課題が残っていることも記載することで、市民からの信頼性や納得感が増すと思えます。

委員

2-1は福祉の充実かと思えますが、施策名が「住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進」となっており、抽象度が高いため、評価するうえでも何をめざしているのかが、分からなくなるのではないのでしょうか。

会長

施策シートに福祉、教育、などの分野を示す標記があると分かりやすくなるかもしれません。

委員

施策シート 2-1 の KGI は、実際に豊中市や社会福祉協議会が着実に 1 年 1 年進めているということが読み取れる指標になっていると思います。また、2-1 で対象にしているのは、住み慣れた地域で暮らし続けることが非常に難しい人たちで、そういった方々も取りこぼさずに豊中で済み続けられるまちにするといいことかと思えます。明確に言葉にすることが難しいことから抽象度が高くなっているかと思えます。

会長

施策名や指標を変えるのは難しいですが、今後評価を行うときに、 $+\alpha$ の視点として加えていくといいかと思えます。KGI の目標値を達成している指標については、 $+\alpha$ の指標をもとに進捗管理を行うなども同様です。

委員

まち・ひと・しごと創生総戦略は、人口減に対する施策という認識だったが、今回の審議会が一体化したことを受けて、総合計画との関係性や役割について整理をしていただけたらと思います。

会長

本日の時間はあとわずかになります。残りの施策シートについては、後日、メール等でご意見頂戴し、事務局で取りまとめる方向性でよろしいでしょうか。

委員

意義なし

■「4. その他」

事務局

(連絡事項「今後の日程について」説明)

会長

以上で「第 1 回豊中市総合計画審議会」を終了したいと思います。ありがとうございました。

(以上)